

部局名	消防本部	所属名	消防総務課	所属長名	北條 幸夫	電話	459-7802
-----	------	-----	-------	------	-------	----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3366	事務事業名称	消防団運営管理事業				短縮コード	経常	3366	臨時		
予算区分	会計	01	一般会計	款	09	消防費	項	01	消防費	目	02	非常備消防費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等		消防組織法及び消防法（消防団活動費）、八千代市消防団条例							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）												
消防団活動に係る事務 ・消防団発足時から。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱(章)	04	第4章安心安全都市をめざして					
近年、消防団員のサラリーマン化が進み、また勤務先が市内ではないことから、入団してくる人材が集まりにくくなってきている。					大項目(節)	02	第2節市民の安全					
					中項目	02	2. 消防					
					小項目	02	(2) 消防体制の充実					
					細項目	05	⑤ 消防団の活性化					
					実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	～			計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	八千代市消防団								
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成23年度に実際に行ったこと: ・消防団員の研修・教育訓練の実施								
	※平成24年度に計画していること: ・消防団員の研修・教育訓練の実施								
意図 (何を狙っているのか)	①消防団の活性化及び組織力の充実強化 ②専門知識及び技術取得による個人能力の向上								
ねらい(上位施策の意図)	入力対象外								
区分	指標	内容	単位	22年度		23年度		24年度	
				実績	計画	実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	消防団員数	人	292	309	288	309		
	指標2								
	指標3								
活動指標	指標1	千葉県消防学校等の研修・教育訓練の実施日数	日	3	2	2	2		
	指標2	知識・技術向上に係る教育訓練を実施した日数	日	39	39	29	61		
	指標3								
成果指標	指標1	千葉県消防学校等の研修・教育訓練の参加人数	人	1	1	1	1		
	指標2	知識・技術向上に係る教育訓練に参加した団員数	人	1,051	1,480	1,129	1,486		
	指標3								
上位成果指標	指標1								
	指標2								
	指標3								

コード	3366	事務事業名称	消防団運営管理事業		所属名	消防総務課	
	単位	22年度		23年度		24年度	
		実績		計画		実績	
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円				
		一般財源	千円	21,918	23,770	30,467	24,255
	その他	千円					
	主な事業費の内訳		費用弁償(訓練等) 2,778 消防学校入校負担金 3	費用弁償(訓練等) 3,985 消防学校入校負担金 10	費用弁償(訓練等) 3,299 消防学校入校負担金 13	費用弁償(訓練等) 3,965 消防学校入校負担金 15	
人件費(B)		千円	16,779.4	13,233.1	13,052.7	13,052.7	
トータルコスト(A)+(B)		千円	38,697.4	37,003.1	43,519.7	37,307.7	

3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている <input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	上位の施策「消防体制の充実」を図るために、消防団運営管理事業を実施している。			
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している <input checked="" type="checkbox"/> 達成していない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	消防団の活性化及び組織力の充実強化や、消防団員の専門知識及び技術取得による個人能力の向上は、継続していく必要がある。			
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	消防法において「消防は市の責務」とされている。			
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 見直す必要がある <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	所期目的の変更はなく、現状の対象と意図で結果に結び付く。			
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 両方可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない	消防団の活性化及び組織力の充実強化や、消防団員の専門知識及び技術取得による個人の能力向上を日頃から努めているため可能性はありません。			
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)
		<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用				2
		<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し				
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し				
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない					

コード	3366	事務事業名称	消防団運営管理事業			所属名	消防総務課																						
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			引き続き消防団員への訓練・研修等を行う事で充実強化に努めるとともに、男女を問わず消防団活動への参加を促進することにより、引き続き消防団活動の活性化を図っていきます。																							
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続																										
		⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	今後も消防団員の各種訓練・研修を積極的に実施し、消防団活動の充実強化を図ることが不可欠であるが、成果としては不変である。	
		経費																											
		削減	不変	増加																									
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									
	不変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
消防団は消防職員同様、訓練・研修が不可欠である。	

所属長コメント	地域の消防防災の中核である消防団は、社会経済情勢の変化を受けて、団員数の減少、サラリーマン団員の増加など対応すべき課題を抱えている。消防団は、消火活動をはじめ多数の要因を必要とする災害活動、また、大規模災害での救出活動や捜索活動、避難誘導などの面でも重要な役割を果たしており、身近な暮らしの安全確保を図っていく上で、大量動員が可能な消防団は、非常に大きな力として欠かせない組織であり、充実強化を図っていく必要がある。	
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。